

2026年7月期決算説明会資料

2026年9月28日

株式会社ビーエイブル
証券コード: 604A

目次

- 01.** 会社概要・事業内容
- 02.** 2026年7月期決算概要
- 03.** 2027年7月期業績予想
- 04.** Appendix

Yes, it's possible !



株式会社 ビーエイブル

01

会社概要・事業内容

廃炉作業と原子力発電所のメンテナンスが主力ビジネス

- 福島第一原発の廃炉作業や原子力発電所のメンテナンス工事を基盤事業とし、再生可能エネルギー事業、介護事業、料飲事業を展開

(2026年7月末時点)

会社名	株式会社ビーエイブル
本社所在地	福島県双葉郡大熊町 大字夫沢字中央台551-6
代表者名	代表取締役 佐藤 順英
設立	1991年3月
資本金	36,695千円
従業員	229名

主要取引先

TEPCO

東京電力ホールディングス

26年7月期
売上構成比

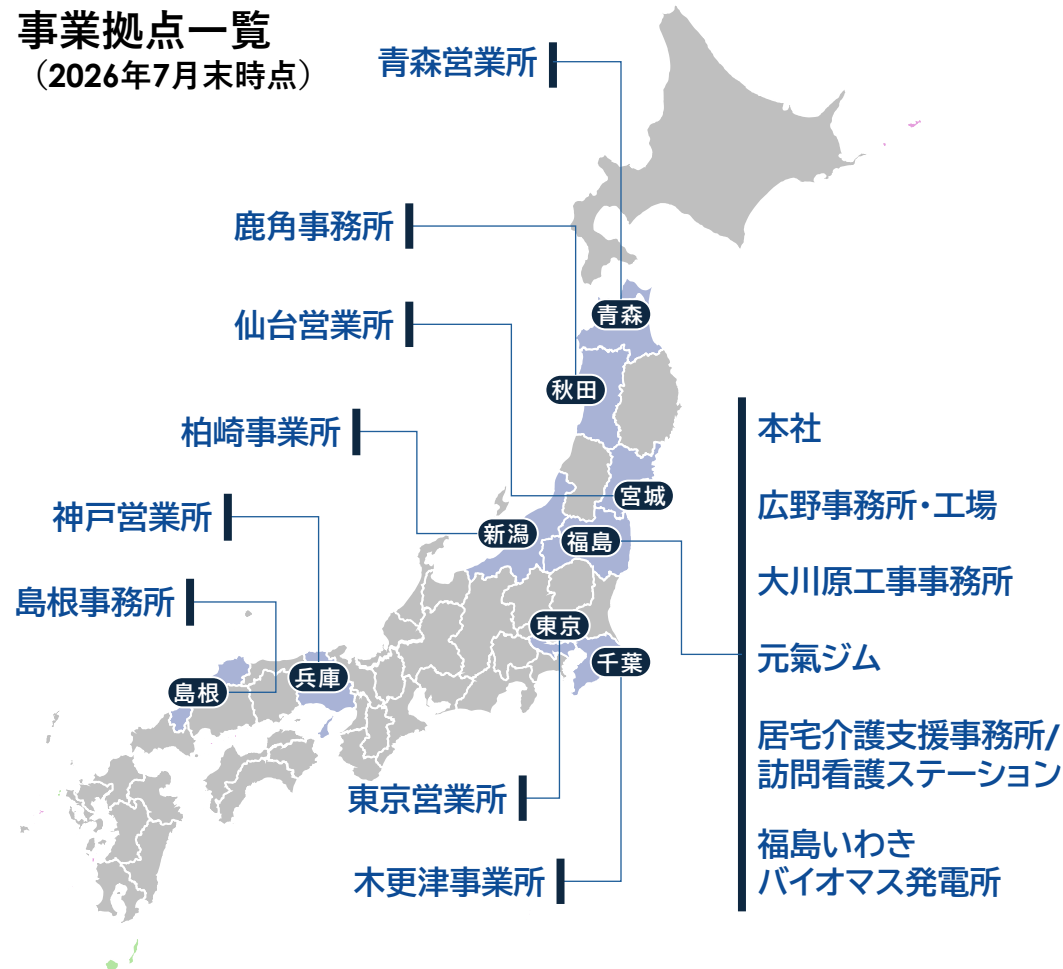
52.3 %



株式会社IHI原動機
IHI Power Systems Co., Ltd.



事業拠点一覧 (2026年7月末時点)

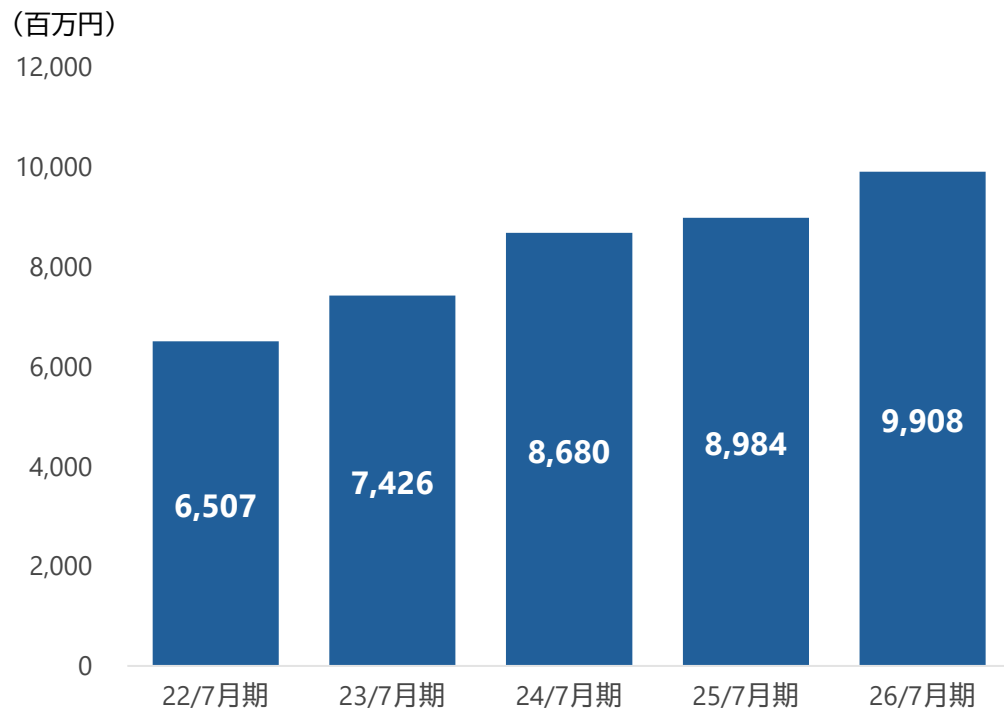


売上高・営業利益推移

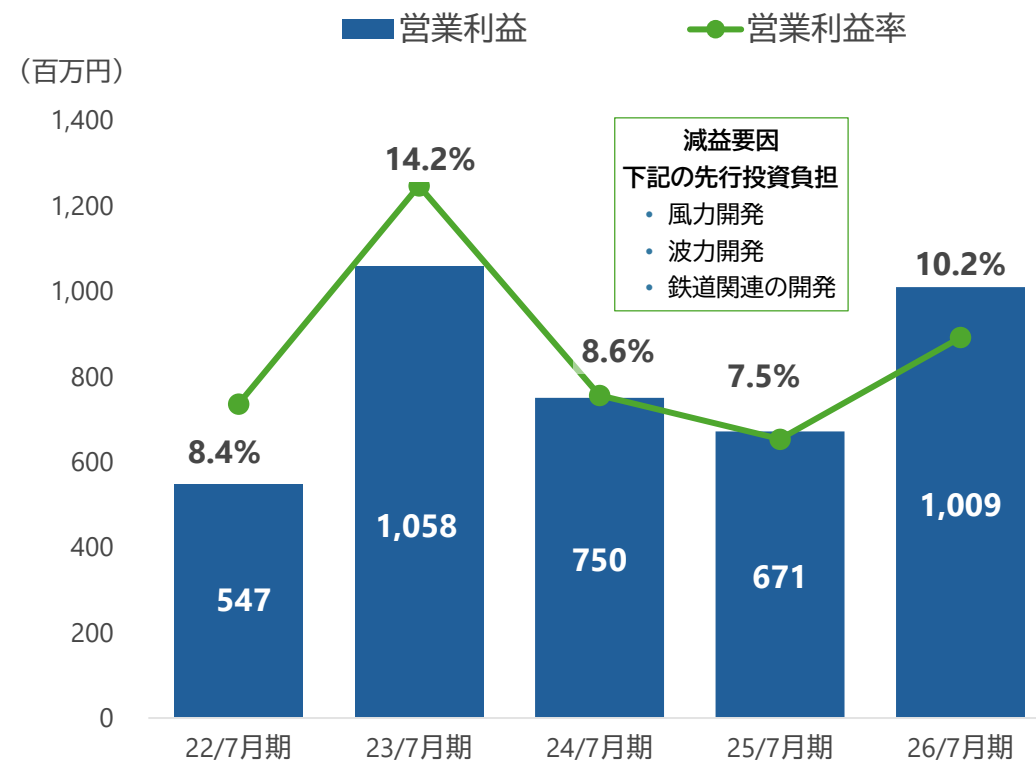
事業拡大に伴い、売上高は着実に伸長

- 成長投資を継続しつつ、営業利益は高水準へ回復

売上高の推移

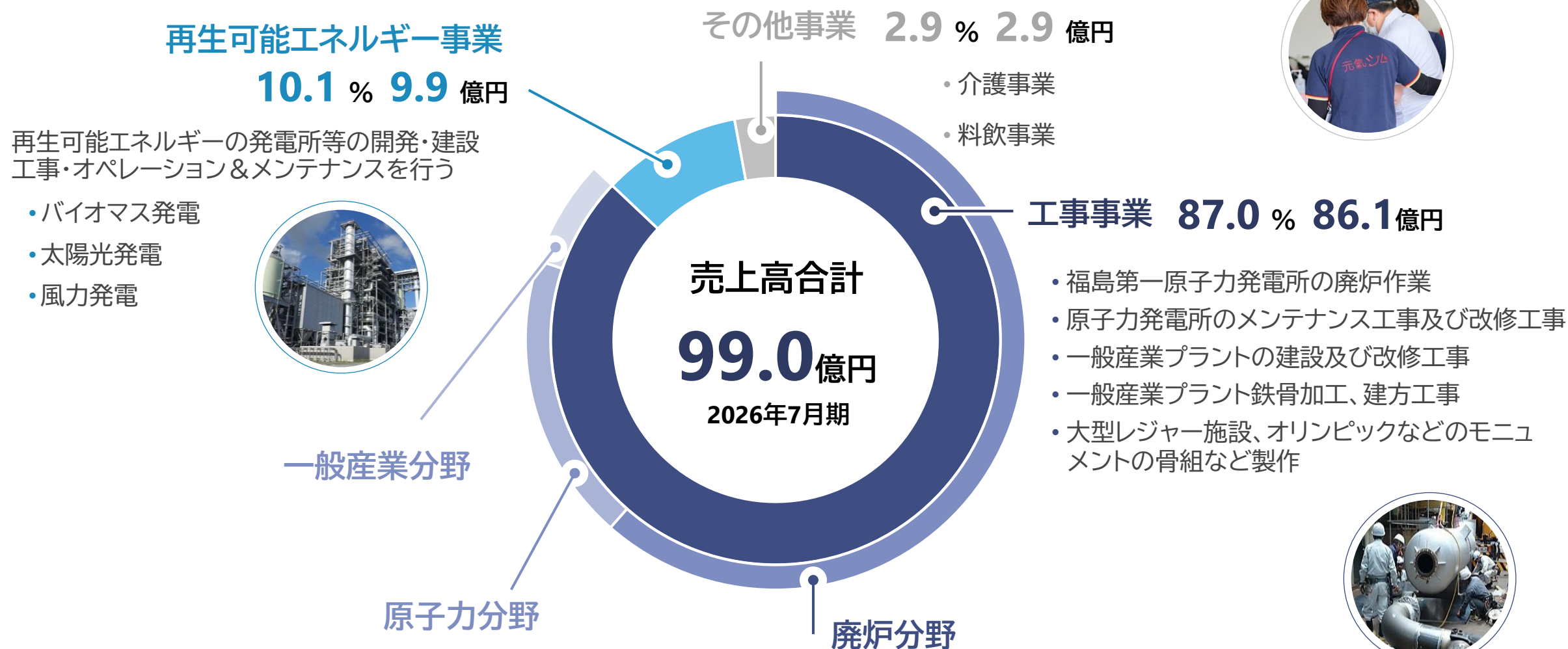


営業利益と営業利益率の推移



- ※売上高と営業利益は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

福島復興を支える。廃炉および原子力発電所のメンテナンスが主力事業。再生可能エネルギー事業も推進



成長市場 × 高い参入障壁 × ストック収益モデルで持続的な企業価値向上を実現

1

日本のエネルギー転換を支える成長市場

■ 廃炉・復興の完遂

- **40年・8兆円規模**の国策を通じた福島復興への貢献
- **独自開発のロボット**を活用し、安全性向上に寄与

■ GXと地域創生

- エネルギーの多様化を支える再生可能エネルギー事業も展開
- 地域雇用創出による**地域創生モデル**を確立

■ 次世代エネルギー領域でも拡大

- **国内最大級**112MWの木質バイオマス専焼発電所を建設・運営
- 風力・太陽光発電等の拡大、今後は**波力発電**の実用化へ

➡ 日本のエネルギー課題を成長機会へ転換

2

高難易度領域で築いた参入障壁

■ 「現場力×開発力」の融合

- 現場課題を即座に自社開発へ反映
- 迅速な対応力と柔軟性を実現

■ 高付加価値なポジショニング

- 他社が参入しづらい**高難度領域**を中心に展開
- 豊富な実績と顧客の信頼に支えられた**高い元請比率**

■ 廃炉領域のさらなる拡大

- **AI・ロボット技術**により対応領域を拡大
- 生産性と安全性を継続的に向上

➡ 現場知見と技術開発力が模倣困難な競争優位性を実現

3

長期安定収益を生む事業モデル

■ 重要なパートナー

- 原子炉本体周辺のコア業務に精通
- 原子炉メーカーとの**強固なリレーション**

■ 原発再稼働の本格化

- 再稼働に伴う**メンテナンス需要**を着実に受注
- **継続性の高い**収益機会を獲得

■ 再生可能エネルギーによる収益基盤

- バイオマス発電所の**配当受領**へ
- 各種発電所の継続的なオペレーション&メンテナンスでの収益獲得

➡ ストック型収益の拡大により持続的な成長を実現

Yes, it's possible !



株式会社 ビーエイブル

2026

2026年7月期決算概要

● 2026年7月期の実績

- 売上高は、9,908百万円(前期比+ 10.3%)
⇒工事事業、特に廃炉関連工事の牽引で受注基盤を拡大し、**増収**
- 営業利益は、1,009百万円(前期比+ 50.4%)
⇒売上原価は前期より増加したものの、増収効果に加え販管費が微減したことで、**大幅な増益**
- 当期純利益は、735百万円(前期比+ 54.6%)
⇒**過去最高益**

収益力向上により過去最高益を更新

(単位:百万円)

	2025年7月期		2026年7月期		2026年7月期
	実績	実績	前期比	計画比	計画値※1
売上高	8,984	9,908	+ 10.3%	+ 1.3%	9,783
工事	7,852	8,619	+ 9.8%	—	—
再生可能エネルギー	930	998	+ 7.3%	—	—
その他	200	291	+ 45.0%	—	—
営業利益	671	1,009	+ 50.4%	- 10.8%	1,131
(営業利益率)	7.5%	10.2%	+ 2.7P	—	—
工事	1,143	1,601	+ 40.0%	—	—
再生可能エネルギー	1	▲14	—	—	—
その他	▲98	▲96	—	—	—
経常利益	656	1,022	+ 55.6%	- 7.9%	1,110
当期純利益	475	735	+ 54.6%	+ 0.8%	729
EPS※3	65円83銭	97円99銭	—	—	97円16銭

※1:2026年7月29日付でリリースした計画数値

※2:金額は百万円未満を切り捨てて表示

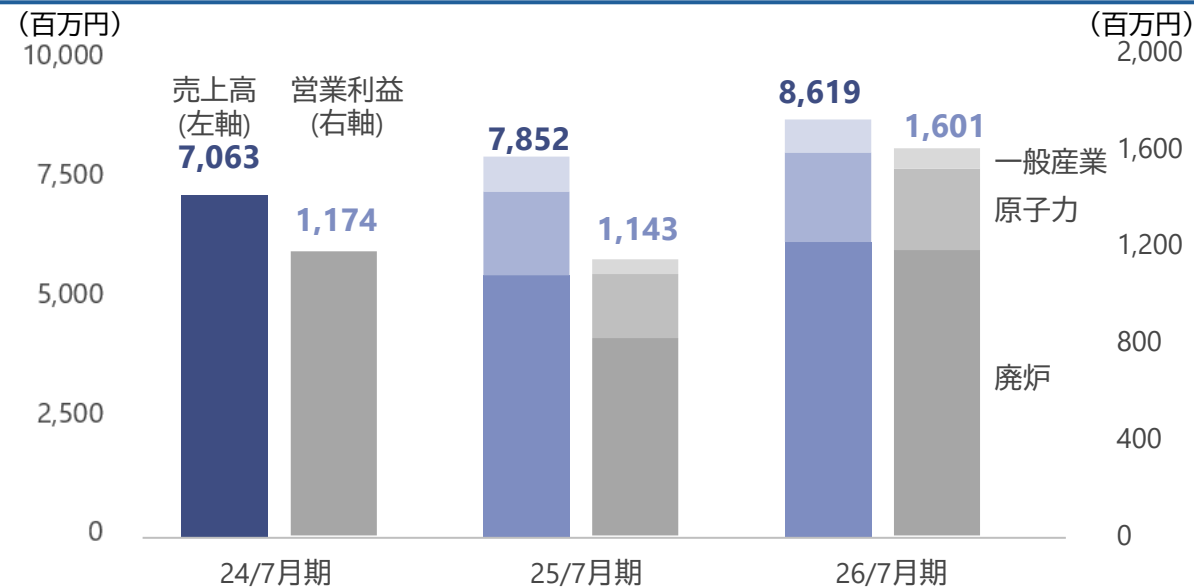
※3:2026年3月4日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

セグメント別業績

工事業が好調で増収増益・最高益

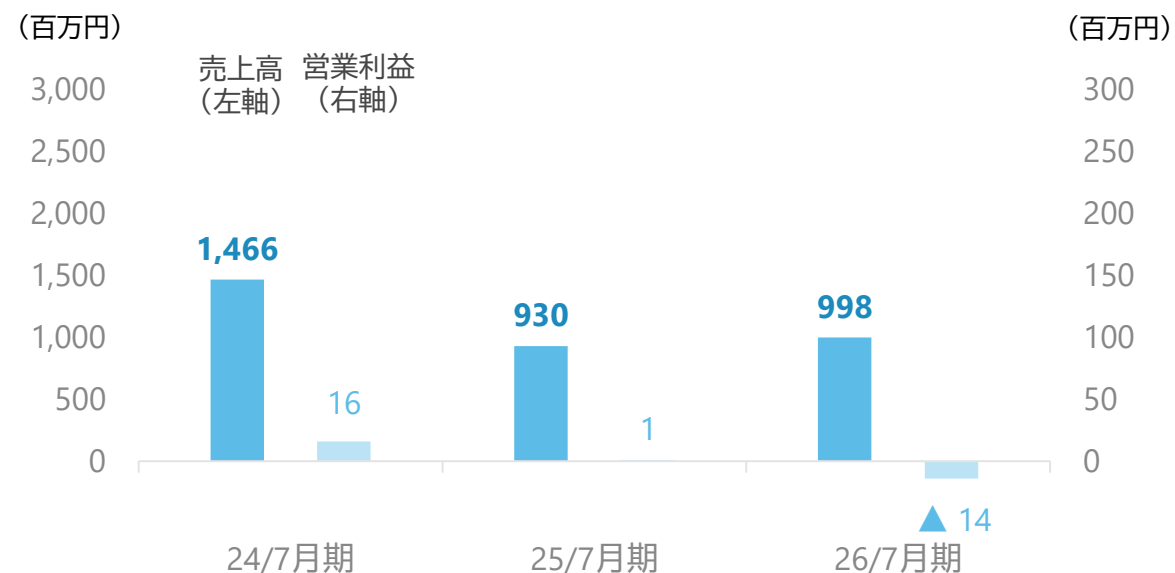
工事業

- 福島第一原発向け廃炉関連工事が順調に進捗
- 廃棄物処理関連の大型案件を**連続受注**
- 島根2号機、再稼働後**初めての定期検査受注**で売上に貢献



再生可能エネルギー事業

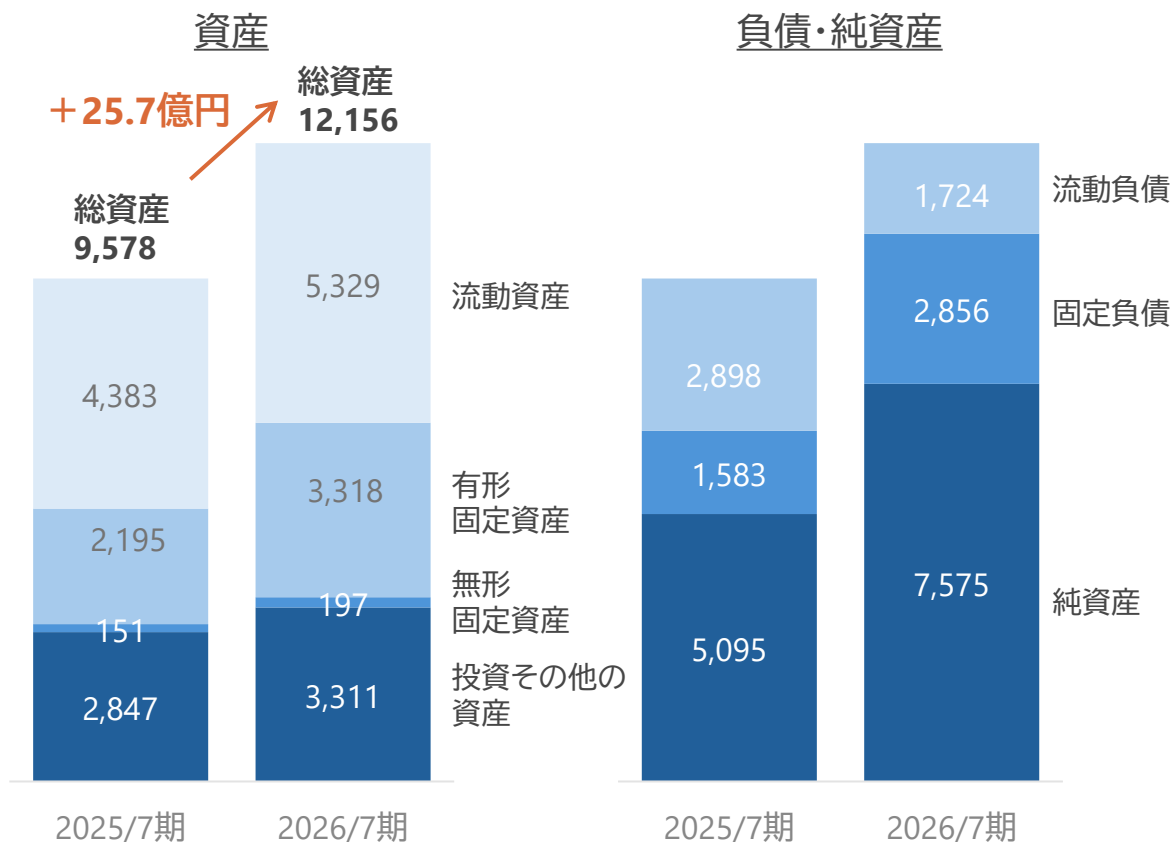
- 風力発電関連メンテナンス業務が**拡大**
- **電力小売事業**の立ち上げ、戦略的先行投資により事業基盤を構築



成長投資と財務基盤強化を両立

貸借対照表

(百万円)



- 成長資金の確保により現預金が増加
- 佐野バイオマス発電所、beABLE研究開発センター、富津新工場関連投資⇒**将来を見据えた投資**
- 総資産は前期比25.7億円増の121.5億円へ拡大
- 利益積み上げと資本増強で純資産が増加
- **自己資本比率**は53.2%から**62.3%**へ

将来の成長に向けた事業基盤構築に関連する取組み

● 高線量環境下での当社ロボット技術活用

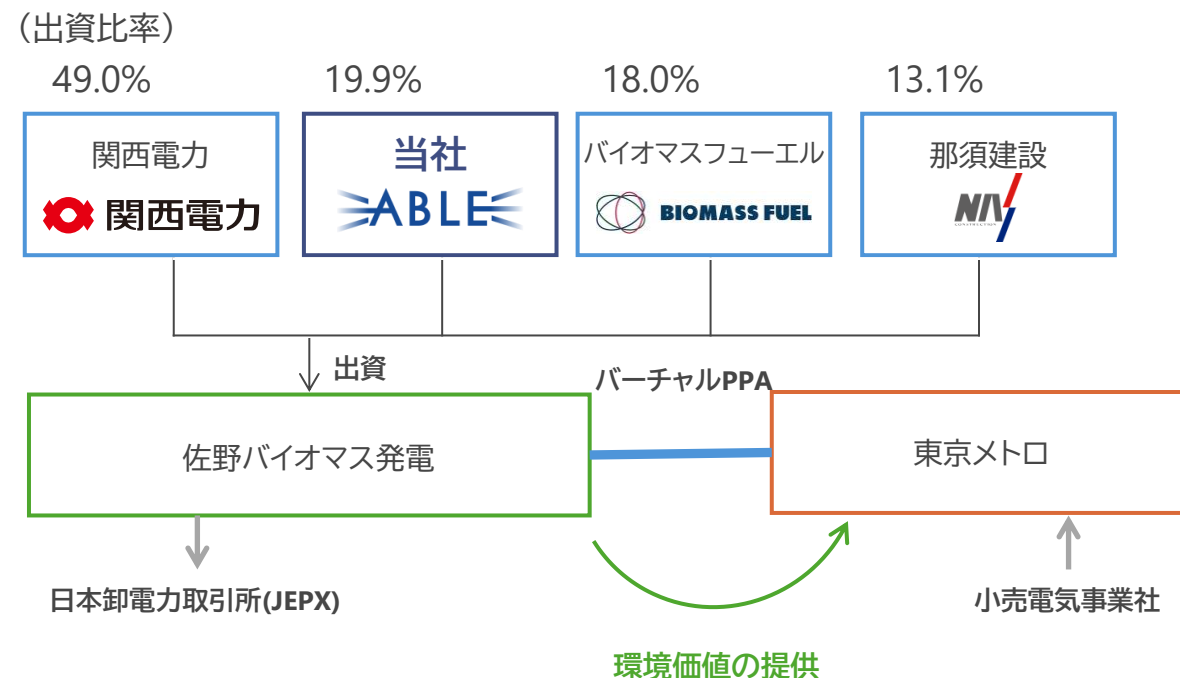
- 福島第一原子力発電所の廃炉関連工事において、遠隔操作ロボットを活用し、原子炉建屋内の高線量環境下における映像確認、放射線量測定を遂行
- 通常を大幅に上回る開発スピードで遠隔操作ロボットを**約2か月**で開発・実装し、廃炉関連工事を完了



佐野バイオマス発電所イメージ図

● 佐野バイオマス発電所 2025年12月

- バイオマスフューエル(株)が設立した合同会社佐野バイオマス発電に関西電力(株)、那須建設(株)と共に投資
- 出力7,100kW・年間発電量約5,700万kWhを計画し、**2028年9月**の運転開始を目指す
- 東京メトロとバーチャルPPAを締結し、再エネ環境価値の提供を通じて脱炭素化に貢献する



将来の成長に向けた事業基盤構築に関連する取組み

● 陸上風力発電所メンテナンスチームの技術力強化

- 今後、ビジネスの拡大が見込まれる陸上風力発電所のメンテナンスチームの技術力、安全知識の向上を目的に福島市飯坂町にある「ふくしま風力O&Mアソシエーション」で教育・トレーニングを実施し盤石な体制の強化



● 地域の環境価値向上

- 新たに鹿角市にBCPセンタ開設し、自社の事業継続拠点として活用、災害対応力を強化
- 空きスペースを地元企業等に提供し、地域全体のBCP強化にも貢献
- 今後はコンテナ型データセンタを計画し将来は発電事業と連携することで、地域の環境価値向上に向けた取り組みを推進



Yes, it's possible !



株式会社 ビーエイブル

03

2027年7月期通期業績予想

2027年7月期 通期業績予想

今期も増収増益予想

(単位:百万円)

	2026年7月期	2027年7月期	
	通期実績	通期予想	前期比
売上高	9,908	11,849	19.6%
工事	8,619	10,049	16.6%
再生可能エネルギー	998	1,438	44.1%
その他	291	362	24.4%
営業利益	1,009	1,418	40.5%
(営業利益率)	10.2%	12.0%	+1.8P
工事	1,601	1,864	16.4%
再生可能エネルギー	▲14	162	—
その他	▲96	2	—
経常利益	1,022	1,388	35.8%
当期純利益	735	956	30.0%
EPS※2	97円99銭	92円23銭	—

※1:金額は百万円未満を切り捨てて表示

※2:2026年8月31日のオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資の影響を考慮しております。

【前提条件】

売上高

■ 工事事業

(廃炉)

- ・ 現在の継続案件の継続
- ・ 新規案件の受注拡大

(原子力)

- ・ 再稼働に向けた安全向上工事(島根・志賀・東海第2)
- ・ 特定重大事故等対処施設関連工事(柏崎等)
- ・ 柏崎6号機再稼働後、初定期検査

(一般産業)

- ・ 京葉工業地帯を中心にプラント関連工事の受注拡大
- ・ 佐野バイオマス発電所建設工事
- ・ データセンタ建設準備工事

■ 再生可能エネルギー事業

- ・ バイオマス発電所並びに風力発電施設のO&M工事
- ・ 既設バイオマス発電所への参画に向けた計画
- ・ バイオマス発電所由来の電力供給開始
- ・ 地産地消のいわきバイオマス電力の供給拡大

■ その他事業

- ・ 環境価値創出事業の展開を検討

設備投資・研究開発費の状況

企業価値向上を目指し、積極的に成長投資を実施

(単位:百万円)

	2026年7月期			2027年7月期
	実績	期初計画	達成率	計画
設備投資	1,459	1,211	120.5%	1,289
減価償却費	276	247	111.7%	335
研究開発費	178	253	70.4%	237

※金額は百万円未満を切り捨てて表示

主な設備投資計画

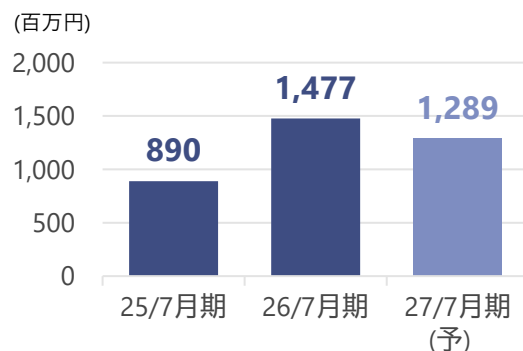
2026年7月期

- beABLE研究開発センター建設費用
- 富津工場用の土地取得
- 特殊車両購入

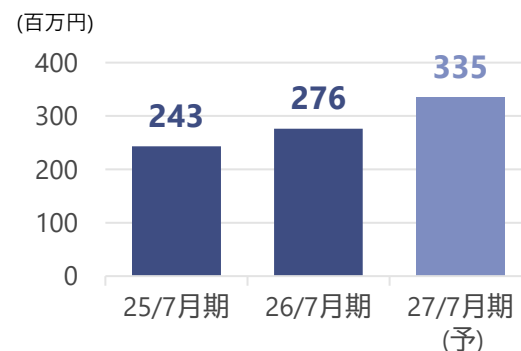
2027年7月期

- beABLE研究開発センター建設費用
- 蓄電池関連費用

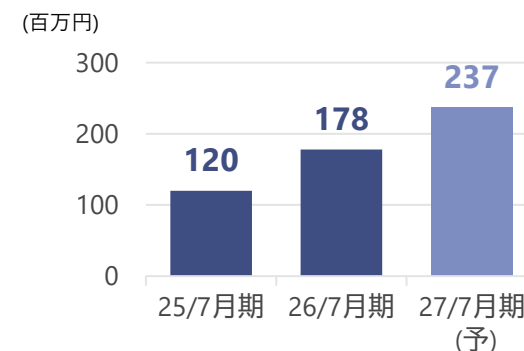
設備投資



減価償却費



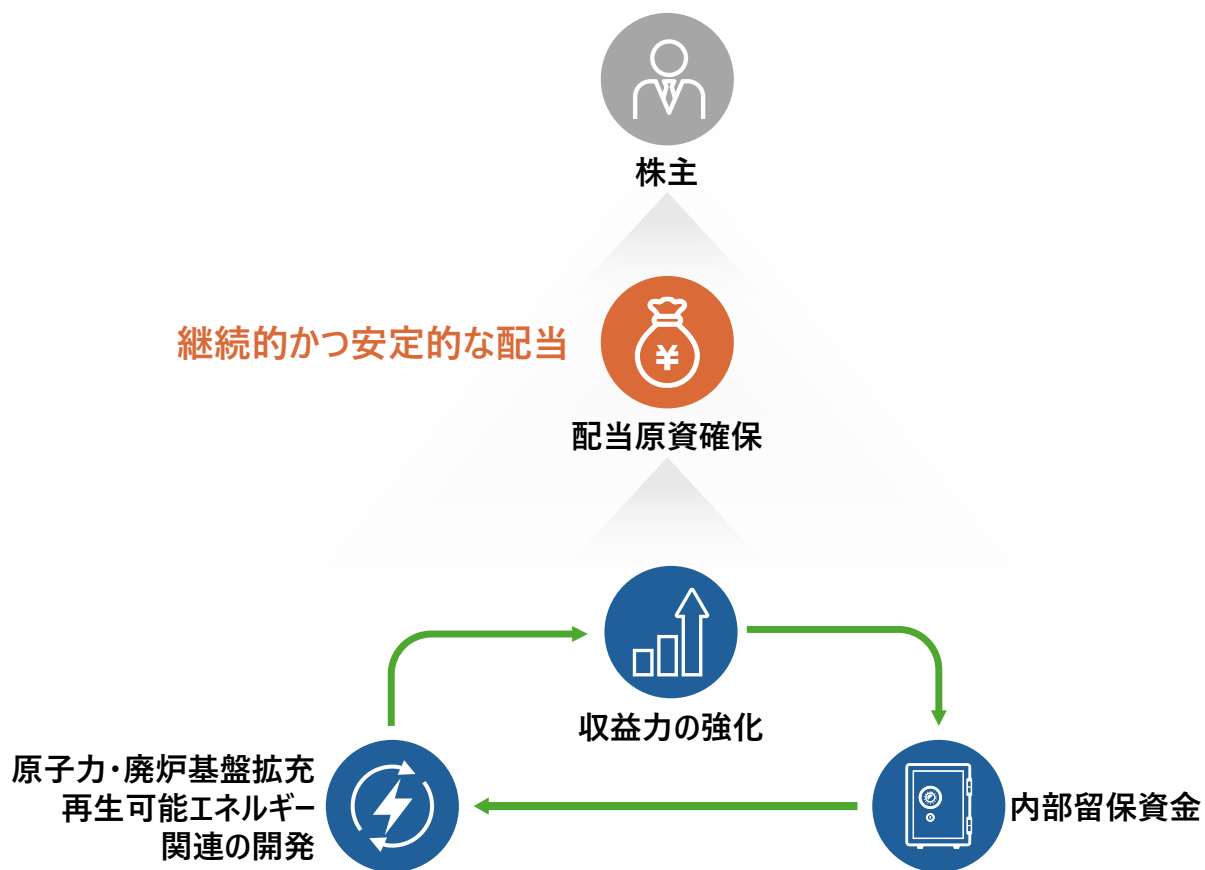
研究開発費※



※25/7月期は「開発費」のみ。

成長投資および継続的かつ安定的な配当を重視

- 中長期的な企業価値向上を重視し、成長投資の推進と共に株主還元も実施



【基本方針】

- 一株当たり配当金は**20円**を下限とする方針
- 収益力強化に向けて、今後の収益力強化の中心となる原子力・廃炉関連の事業基盤拡充と再生可能エネルギー関連の開発等の**成長投資を推進**

⇒企業価値向上に繋がる成長投資を進めつつ、株主還元の強化をバランスを取りながら実施

Yes, it's possible !



株式会社 ビーエイブル

04

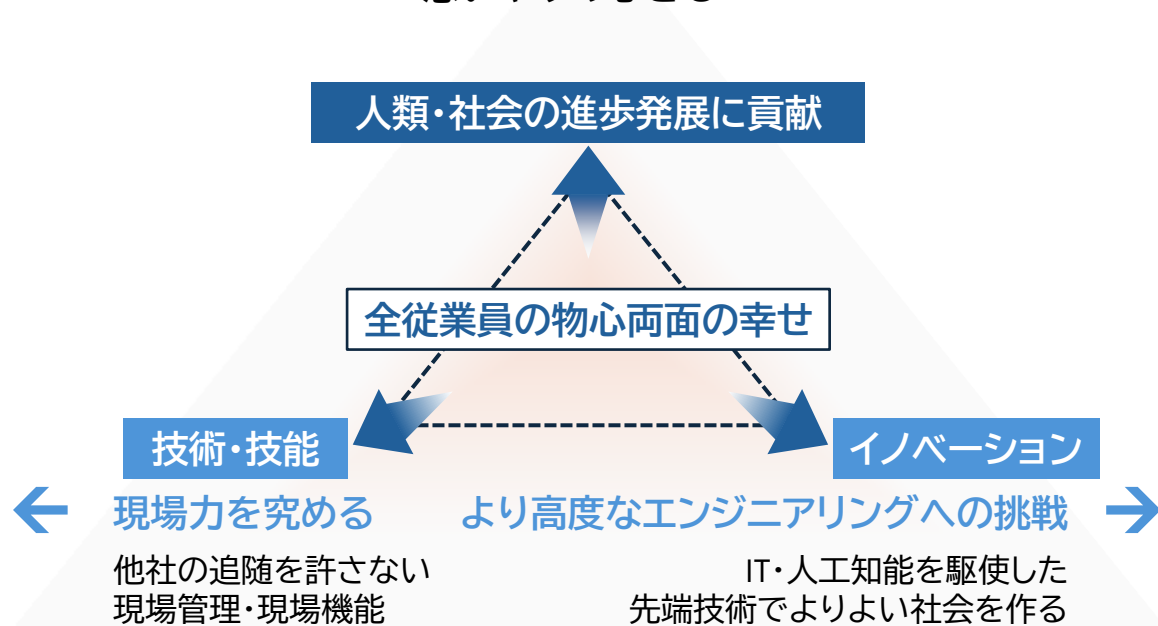
Appendix

「人として正しいことを正しいままに貫く」

社是

利他

人間として何が正しいか「利他」をベースとした考え方、
思いやりの心をもつ



経営理念

全従業員の物心両面の幸せを追求すると共に 人類・社会の進歩発展に貢献する

ビーエイブルは、一緒に仕事をする仲間全員の
物心両面の幸せを追求する会社です。
また、立派な誇れる企業として、
社会、業界の発展に貢献していきます。

MISSION

全従業員の物心両面の幸せを追求すると
共に人類・社会の進歩発展に貢献する

VISION

エネルギー事業を通して世の為、人の為に
つくす

VALUE

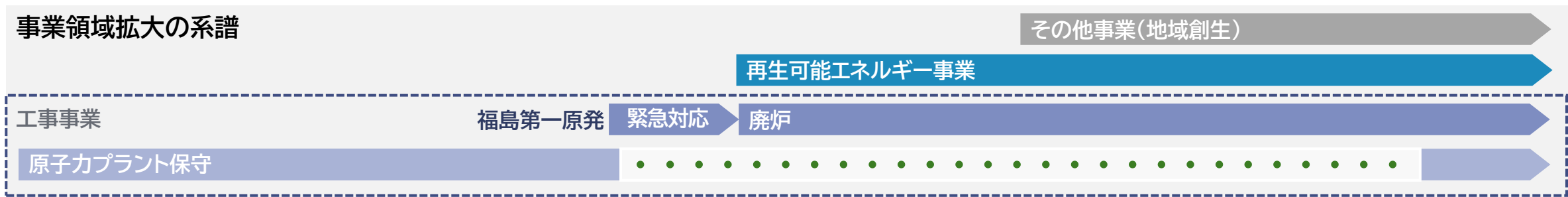
Yes, it's possible! 不可能を可能に！

復興のストーリー。福島第一原発の廃炉事業を基盤に業容を拡大

- 東京電力HD等からの難易度の高い業務要請を確実に遂行。これまでに多数の実績



事業領域拡大の系譜

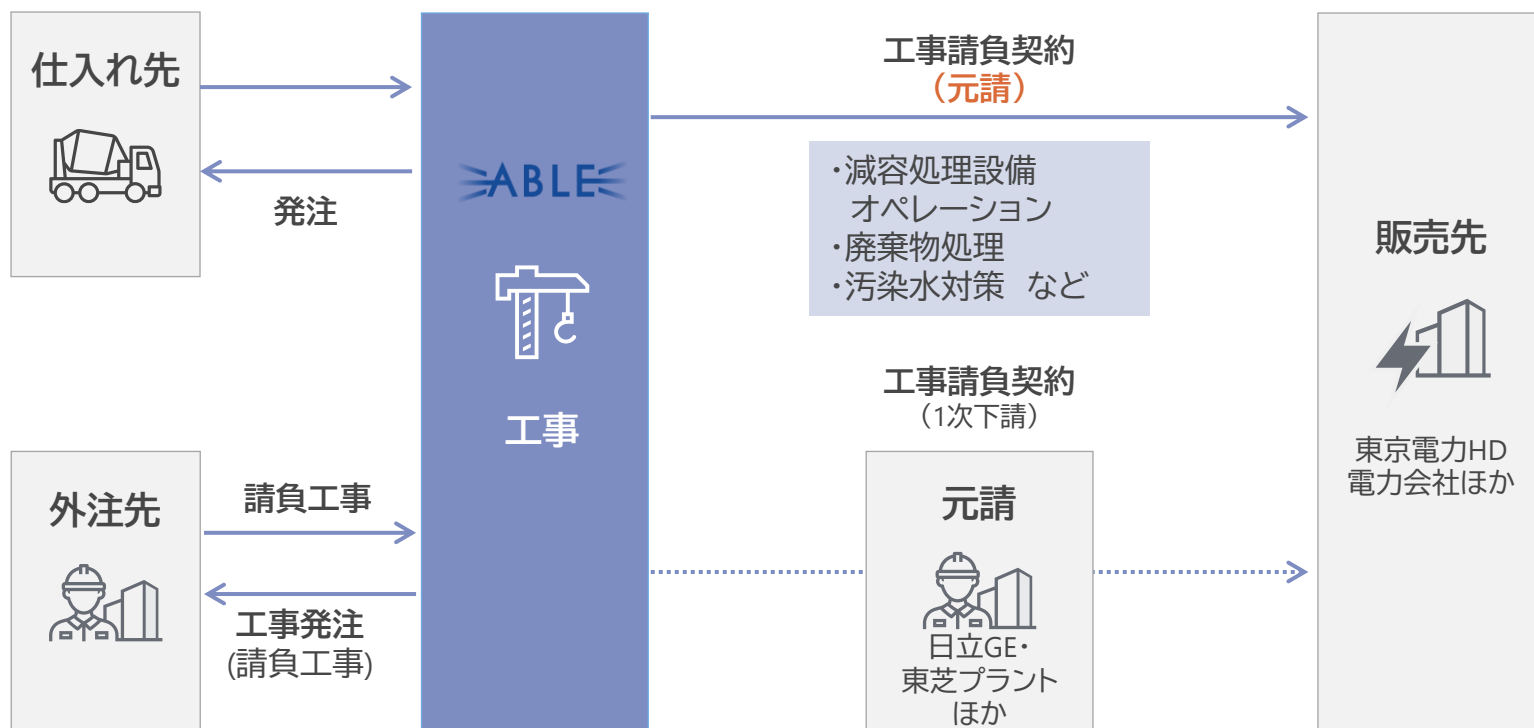


工事事業(廃炉分野)

福島第一原発の廃炉作業、原子力プラントのメンテナンスが主力

- 福島第一原子力発電所の廃炉作業が基盤。遠隔操作ロボットを活用した工事が強み

【事業系統図】



遠隔操作ロボット等による廃炉作業

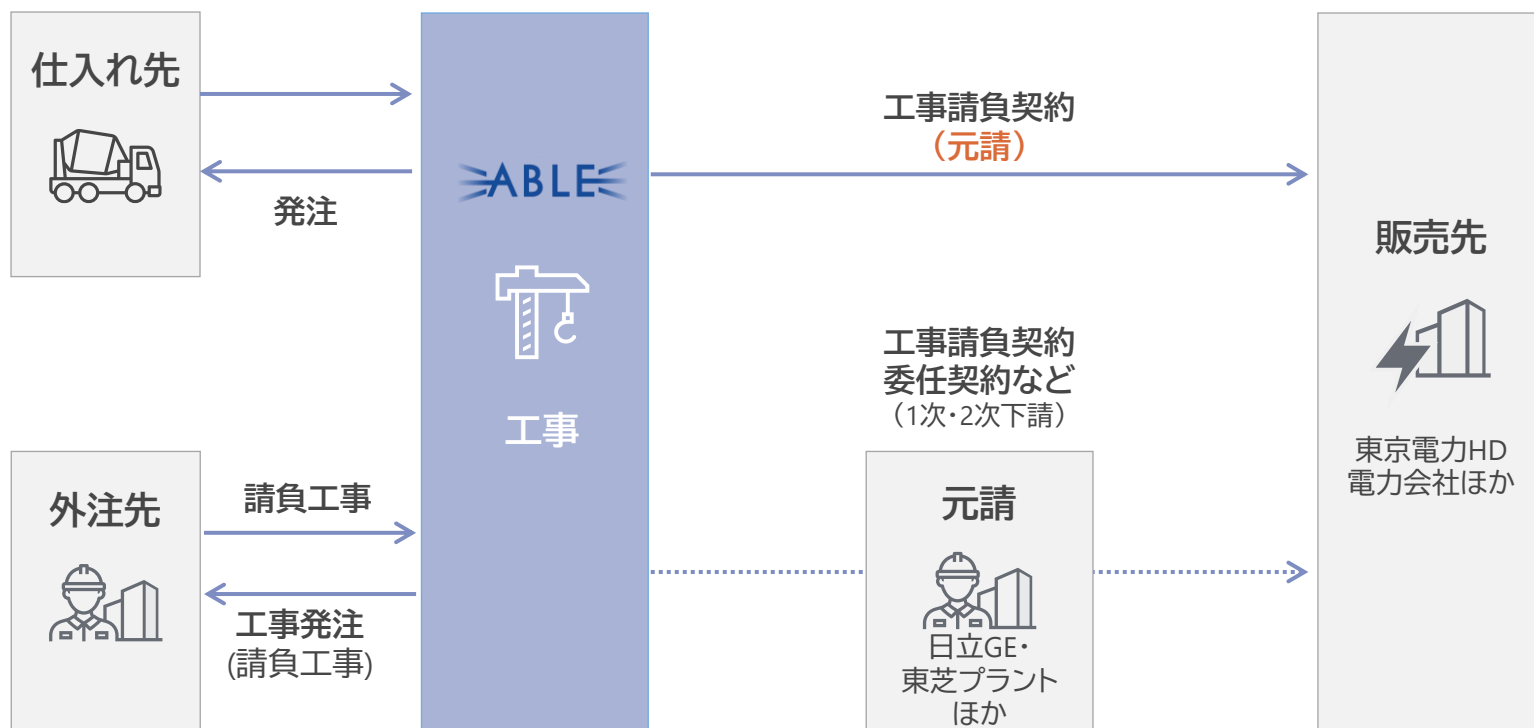


工事事業(原子力分野)

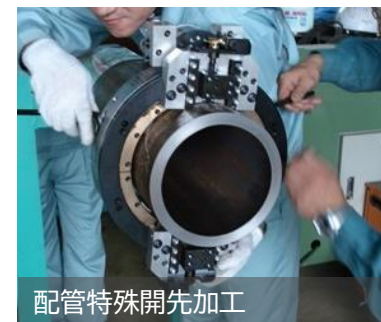
福島第一原発の廃炉作業、原子力プラントのメンテナンスが主力

- 原子力および一般プラントの設備工事、メンテナンス事業も創業時より展開、原子力発電所のさまざまな業務に対応

【事業系統図】



原子力プラント保守



工事事業(一般産業分野)

産業プラントやテーマパークにおけるモニュメントの製作・工事を展開

- 創業から培った堅実な建設工事技術が強み
- プラント工事・各種モニュメント他製作・据付工事を展開

- 【主な工事内容】
- 産業プラント設備の保守点検や改修工事、新設工事
 - 京葉・京浜工業地域をメインに鉄骨の制作から現地での建方までを実施
 - テマパークにおける各種モニュメント等の制作・据付工事
 - 千葉県木更津市に鉄骨加工工場を有し、機動的な事業展開が可能な体制を整備

【事業実績】



再生可能エネルギー事業

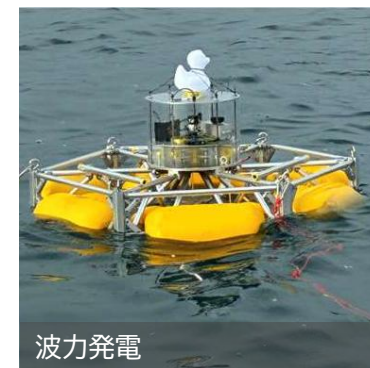
発電所開発・建設工事・オペレーション・メンテナンスを一気通貫で展開

- 電力プラントの運用で蓄積した発電に関するノウハウを活かし、国内最大112MWの木質バイオマス専焼発電所を運営
- 太陽光発電、風力発電、波力発電などの再生可能エネルギー事業も展開し、環境に優しいエネルギーの創出を推進

【国内最大のバイオマス発電所の企画・建設・管理・運営を行う】



【自然エネルギー関連】



発電電力量

2025年発電実績 : 約**8億2,300**万kWh / 年

事業計画 : 約**7億7,000**万kWh / 年
 一般家庭 約**25万**世帯分

GEの作業許可を取得

veriforce
ComplyWorks

GEは作業許可条件が「95点以上」と厳格

GEスコアカード

スコア: 97

コントラクター クラス: Severe

コンプライアンスクラス: **承認済み**

主要KPIとして、営業利益率・経常利益率 10%以上達成に向け3つ設定

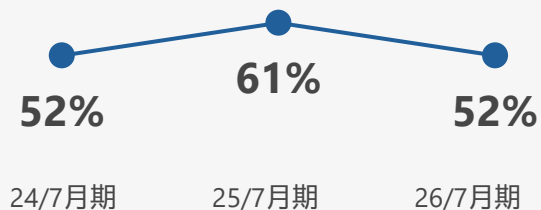
営業利益率および経常利益率

10%以上

元請比率

- ◆ 元請案件は採算性が高く、その比率は収益拡大に紐づく重要な指標

55%以上

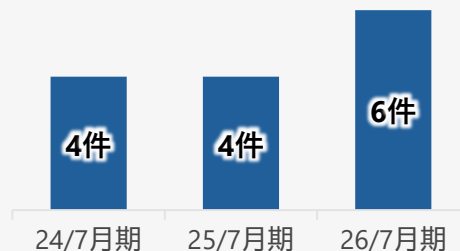


※元請による受注金額ベース

高難度案件または新規工法を伴う 提案による特命受注件数

- ◆ ロボット技術を活用した高難度案件、特命案件は付加価値が高く、その件数は戦略上重要な指標

5件以上/年



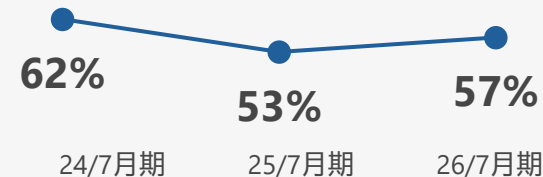
※1件当たり受注金額5,000万円以上の案件

※競争入札によらず個別に指名を受けて受注する案件

大型案件受注金額比率

- ◆ 大型案件は高難度案件と同様に付加価値が高いため、その金額比率は収益性向上に紐づく重要な指標

50%以上

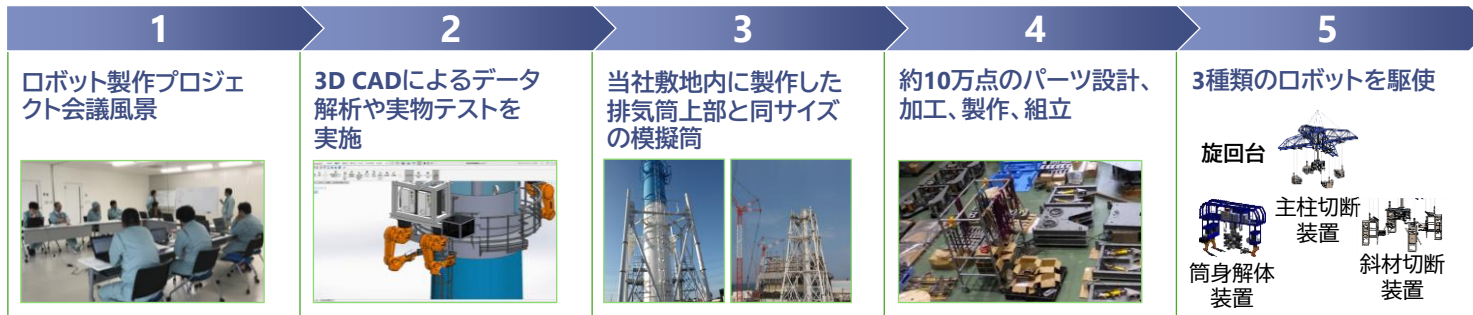


※1件当たり受注金額1億円以上の案件

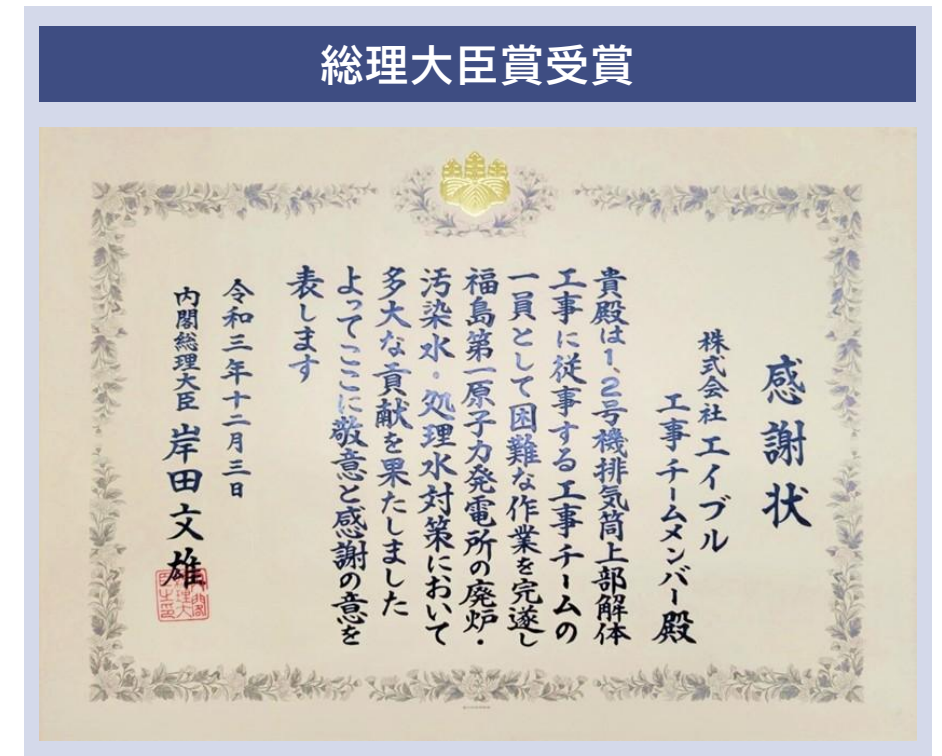
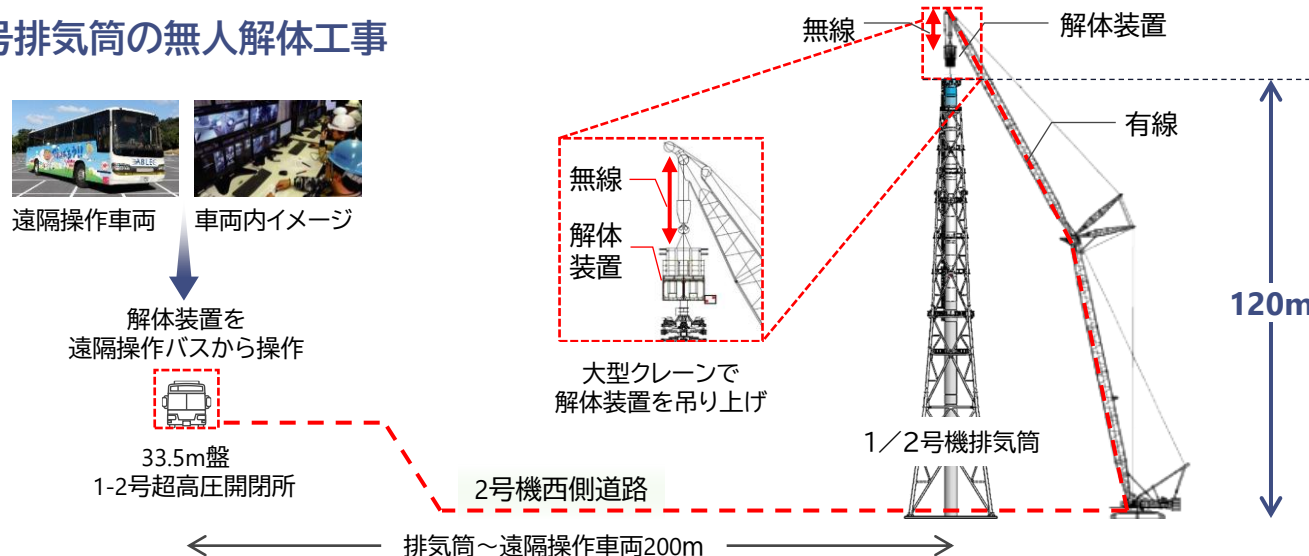
工事業_廃炉分野/ロボット開発で廃炉作業に革新

ロボット開発で廃炉作業に革新

- 廃炉に向けて数々の災害対応ロボットを開発
- 高難度案件に対し、企画提案からパーツ設計・加工、製作、組み立てそして現場作業までワンストップで自社対応



1、2号排気筒の無人解体工事



工事業_廃炉分野/ロボット開発

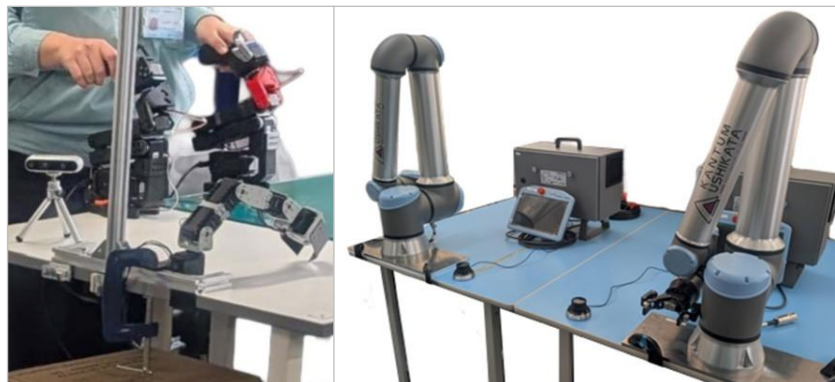
廃炉事業でのAIロボット開発中

- 廃炉作業でのAIロボット開発・投入により生産性が飛躍的に向上へ。作業人員の安全性向上が期待される。2027年頃投入を目標

ヒューマノイドロボット開発



協働同期ロボット（がれき分別）開発



物体検出システム開発



自動塗装ロボット開発



ホイール型四足歩行ロボット開発



四足歩行用アーム



工事事業_原子力分野/原子力発電所メンテナンス

原子炉本体廻りの作業でも多数の実績

- 高難度の原子炉本体廻りの作業でも多数の実績
- ABWR原子炉、BWR原子炉で豊富な実績。毎年実施が必要な整備点検等のストックビジネスが主体
- BWRプラントで今後再稼働を計画しているのは、ABWR型(アドバンスBWR)で、当社はABWR型の技術力で差別化

【当社作業実績】

原子炉本体廻りの実績

ABWR実績

- K-7RPV上蓋開放作業
(デテンショニング/シート面磨き手入)
- K-7RPV上蓋閉鎖作業
(テンショニング/Oリング取付)

BWR実績

- K-5原子炉開放・閉鎖
工事一式
(RPV-H off.on、ドラセパ
off.on、MSLP取付・取外し、
炉内機器移動、PCVハッチ
解放閉鎖)
- K-4RPV上蓋開放作業
(デテンショニング/
シート面磨き手入れ)

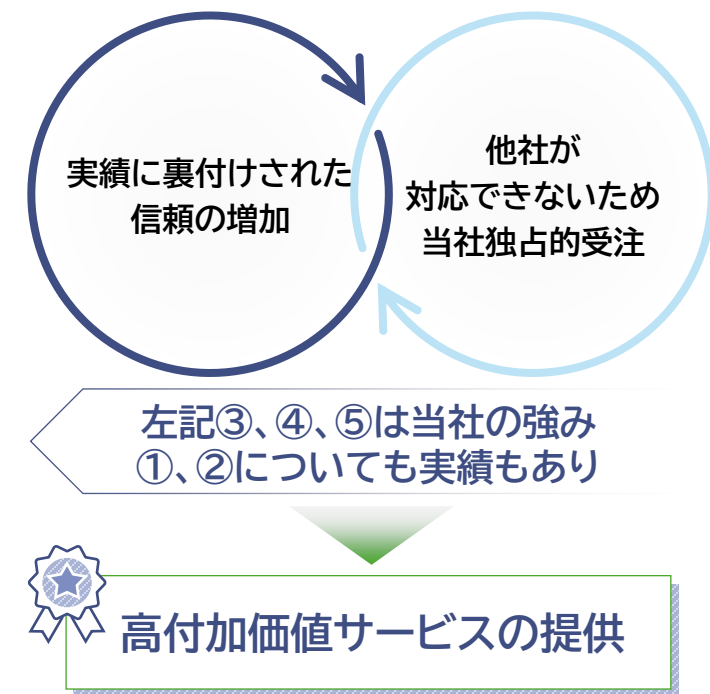
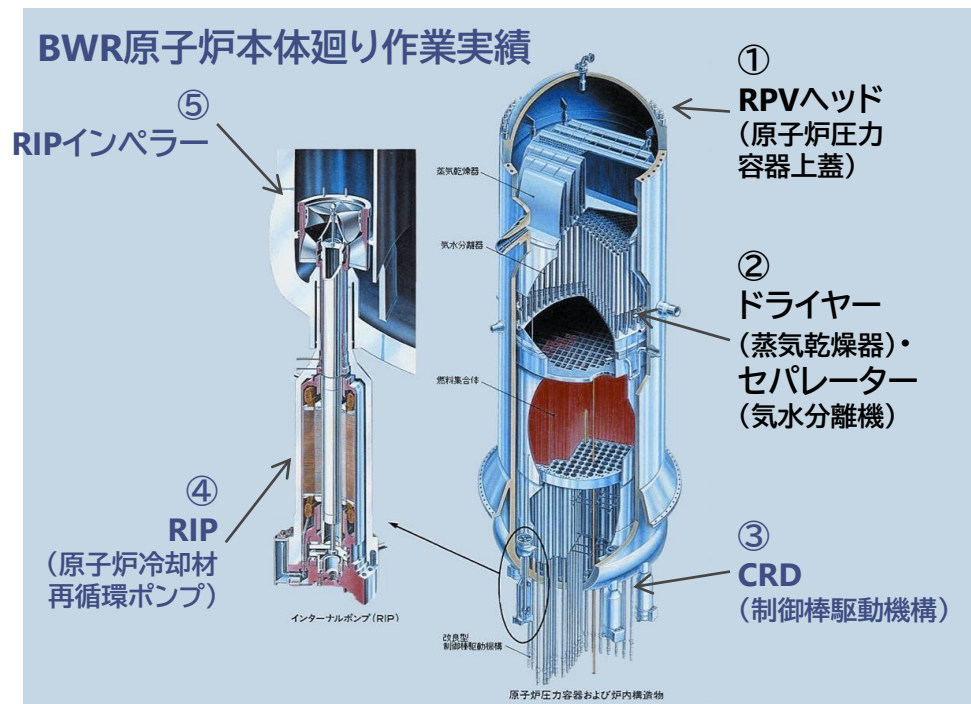
炉内点検及び炉内機器移動での実績

ABWR実績

- K-7 CRGT内点検及び
FS孔清掃

BWR実績

- K-4 RPVシュラウド
溶接部予防保全工事



工事事業_原子力分野/原子力発電所の今後の再稼働とメンテナンスビジネス

原発再稼働に向けた動向

- 原発再稼働により設備工事、メンテナンス需要が長期的に拡大

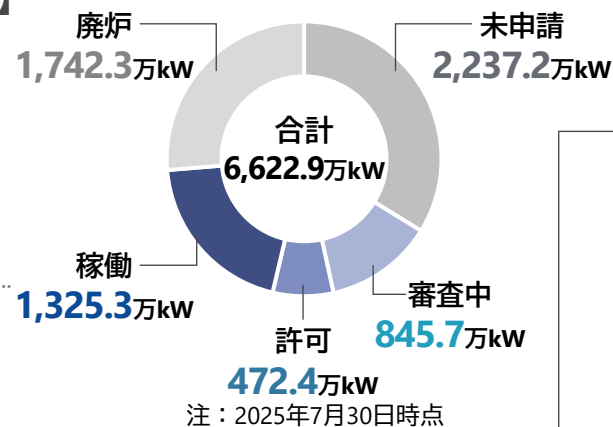
【国内の原子力発電所の新規制基準適合性審査等の対応状況】

(BWR・ABWR(沸騰水型)炉)のみ

未申請※1	東京電力 東通 1、2号機	北陸電力 志賀 1号機	東北電力 女川 3号機	中部電力 浜岡 5、6号機
	東北電力 東通 2号機	東京電力 柏崎刈羽 1、2、3、4、5号機	中国電力 上関 1、2号機	
審査中	電源開発 大間	北陸電力 志賀 2号機	中国電力 島根 3号機	
	東北電力 東通 1号機	中部電力 浜岡 3、4号機		
許可	東京電力 柏崎刈羽 7号機	日本原子力発電 東海第二		
再稼働済※2	東京電力 柏崎刈羽 6号機	中国電力 島根 2号機		
	東北電力 女川 2号機			

受注済み案件
 受注確度の高い案件

当社が関与する原子力発電所



- 当社が再稼働に際し
工事・点検等を行う
原子力発電所

北陸電力
志賀原子力発電所2号機
2028年7月～2030年12月
安全対策工事完了・準備工事
(フロービジネス)
2031年3月
再稼働予定(ストックビジネス)

東京電力
柏崎刈羽原子力発電所6号機
再稼働(ストックビジネス)

日本原子力発電
東海第二原子力発電所
～2028年4月
安全対策工事完了・工事
(フロービジネス)
2029年4月
再稼働予定(ストックビジネス)

中国電力
島根原子力発電所2号機
再稼働後初の定期検査実施中
(ストックビジネス)

※東海第二原子力発電所、志賀原子力発電所2号機、島根原子力発電所は
当社が安全対策工事を担当

※1:計画中等も含む、※2:定期検査中のものも含む
 出典:電気事業連合会「国内の原子力発電所の再稼働に向けた対応状況」

再生可能エネルギー事業/木質バイオマス専焼発電所

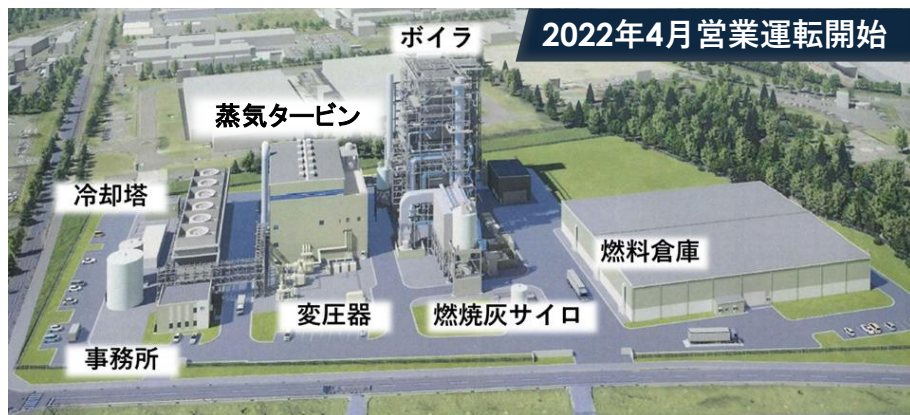
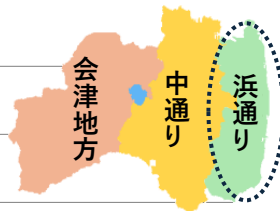
バイオマス発電所のプロジェクトマネジメント&運用保守を担う。成長力強化と地域活性化を図る

- 福島いわきにおいて木質バイオマス専焼発電所の運営を行う。関西電力、クラフティアと共同出資で事業リスクを低減
- 出資比率: 関西電力50%、ビーエイブル45%、クラフティア(九電工)5%

福島県内に**国内最大**の木質バイオマス専焼発電所「福島いわきバイオマス発電所」を建設。2022年4月より運転を開始

木質ペレットバイオマス発電

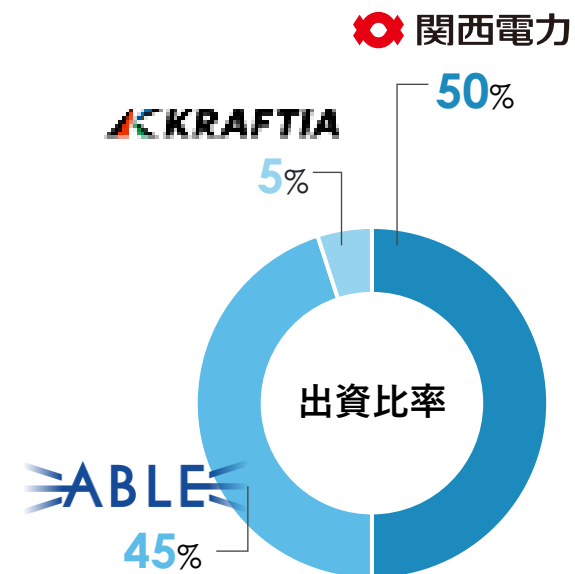
発電所名	福島いわきバイオマス発電
事業者	エイブルエナジー合同会社
所在地	福島県いわき市(好間中核工業団地内)



発電 電力量	2025年 発電実績: 約 8億2,300万 kWh/年
	事業計画: 約 7億7,000万 kWh/年 一般家庭 約 25万 世帯分

燃料	海外バイオマス燃料 (木質ペレット/北米他)
----	---------------------------

定格 出力	112,000 kW
----------	-------------------



再生可能エネルギー事業/持続的な利益貢献

福島いわきバイオマス発電所から数年後より配当受領予定で持続的な利益貢献へ

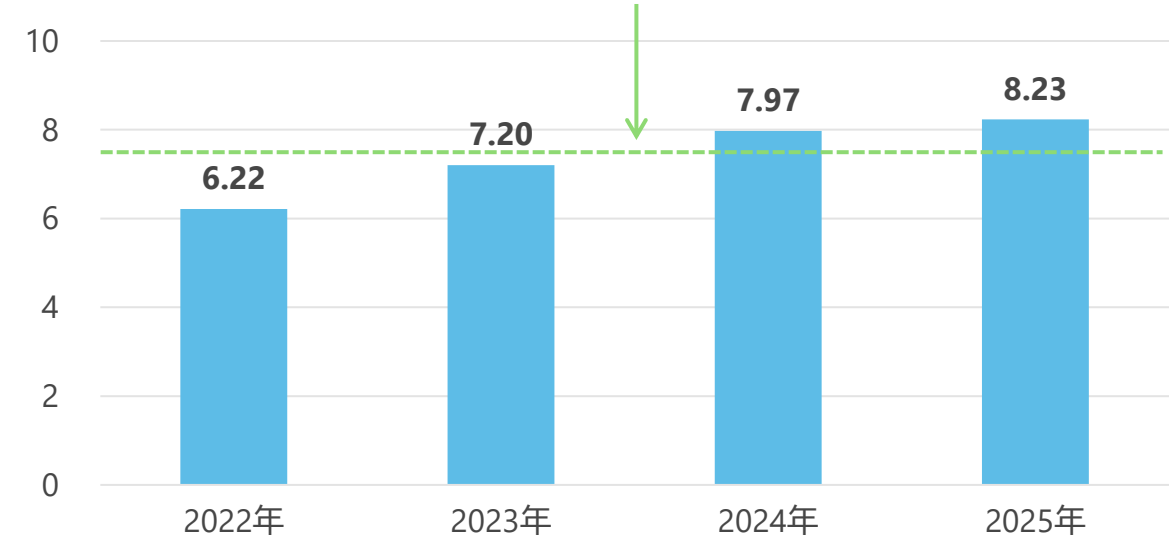
- 福島いわきバイオマス発電所を運営するエイブルエナジー社から数年度以降より配当等のリターン受領予定。持続的な利益貢献ステージへ

【福島いわきバイオマス発電所】

年間発電電力量 約**8.23億**kWh

発電実績

(億kWh)



※2022年のデータは、4月の営業運転開始からのデータ

1 為替ヘッジと20年の燃料調達契約による安定経営

事業計画の発電電力量は約7億7,000万kWhであったが、発電電力量は順調に増加が続き2024年以降、計画を上回って推移

2 事業計画に則って数年後より配当受領予定

事業計画を上回る順調な発電電力量が続いていることから、計画通り数年後以降よりエイブルエナジー社から配当受領のスケジュール

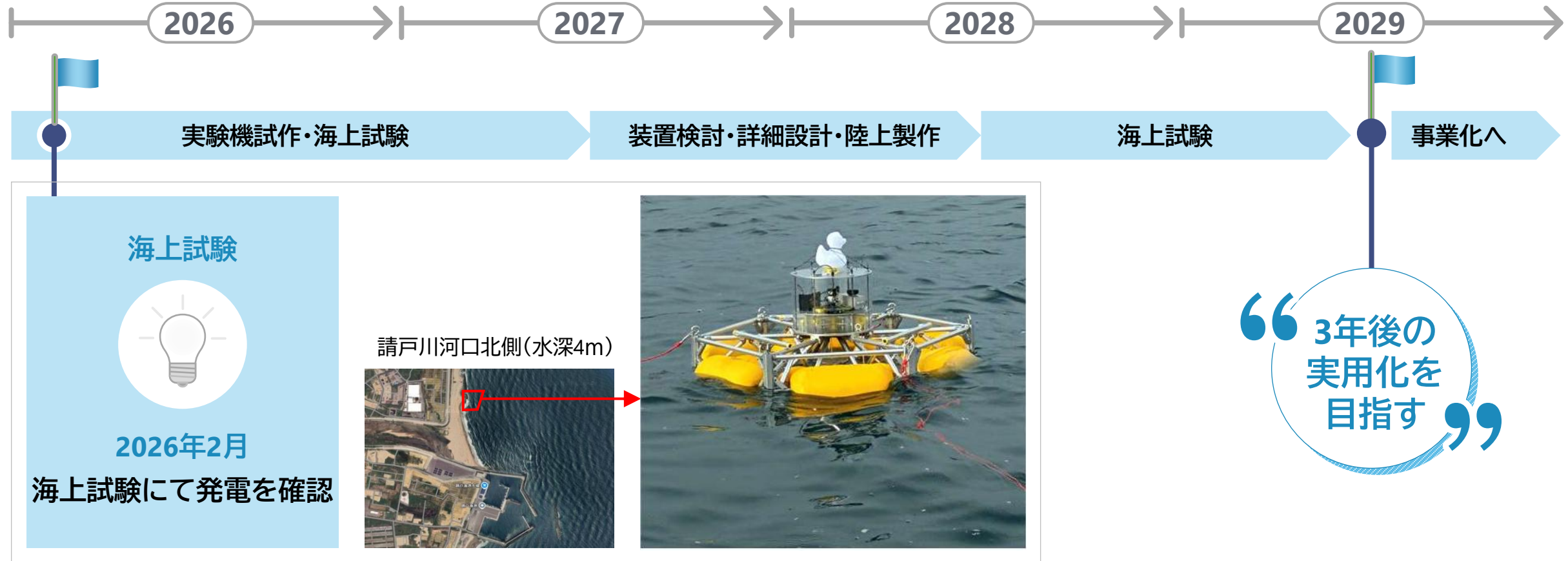
3 持続的な利益貢献体制を整備

配当開始により中長期的な利益貢献体制が整備される

再生可能エネルギー事業/波力発電

国内ではまだ実用化されていない波力発電プロジェクト

- 島国・日本ならではの次世代の再生可能エネルギーに向けて波力発電開発を推進

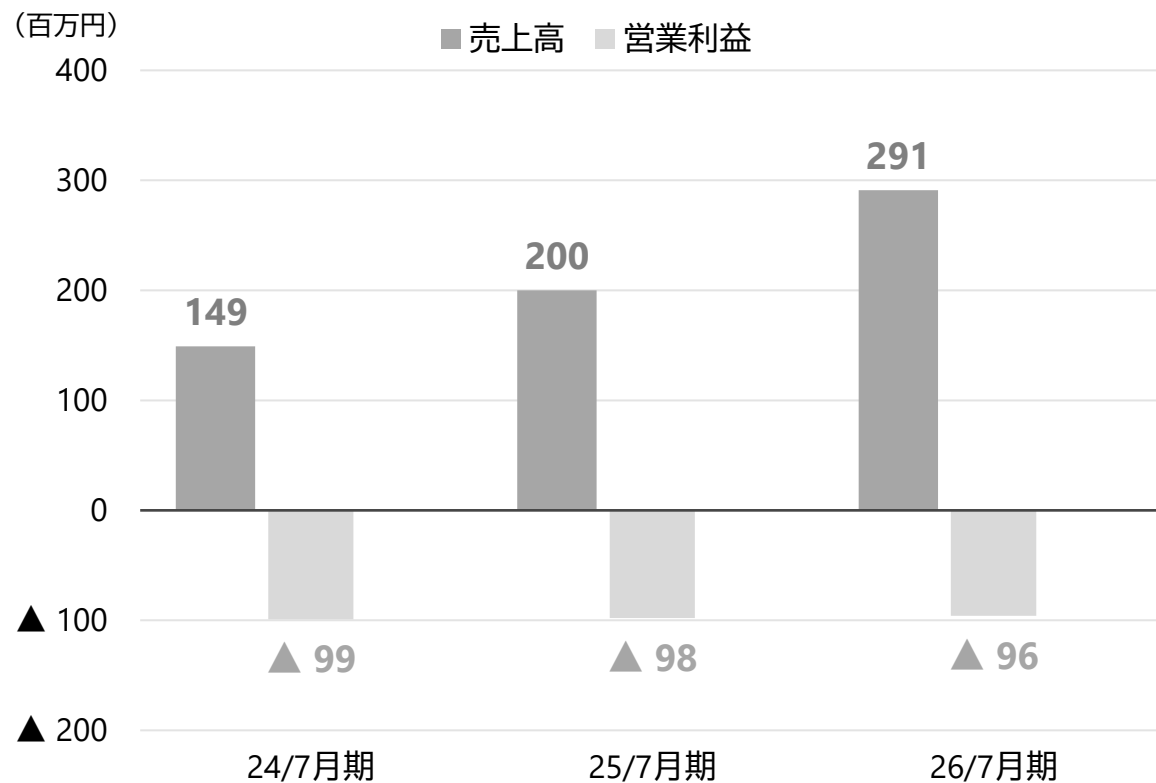


介護事業、料飲事業、データセンタ事業を運営

- 通所介護/デイサービス3施設と地域の食材を生かしたレストラン1施設、コンテナ型データセンタを展開し、地域の社会貢献を推進

【地域貢献を通じて共に成長する事業】

1	介護事業 元氣ジム 地域に根付いた 介護予防事業施設	
2	料飲事業 レストラン Garden 地産地消しながら 地域と連携するレストラン	
3	データセンタ事業 コンテナ型データセンタ 地理的利点を生かした コンパクトなデータセンタ	



※:セグメント間取引については、相殺消去しております。全社消去は未反映

地域と共に発展・成長するビジネスモデル

- その他事業(介護、料飲)に再エネやデータセンタを核として地域活性化を図る

【鹿角東部市民ウインドファーム事業(仮称) 電力供給構想】



ニッチトップな技術・現場力

- 現場起点の技術開発力を一層強化。新たにbeABLE研究開発センターも2027年2月に完成予定

現場に根差した開発力・開発体制

保有技術例

- ① **波力発電**：リアルタイム制御方式を用いた浮体式波力発電システム
- ② **排気筒**：クレーンを用いた遠隔制御として排気筒切断システム
- ③ **ドローン**：センサー技術と組み合わせたドローン技術
- ④ **赤外線センサーによる太陽光自動監視システム**

特許数

取得済：**6件**

(うち、当社単独権利所有2件)

申請中：**1件**

beABLE研究開発センター



2027年2月末完成予定

技術力を発揮した事例

① 波力発電

- ・ 海に浮いた状態で発電が可能
- ・ どの方向からの波にも対応
- ・ 24時間安定して発電

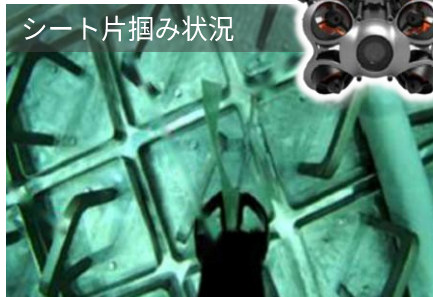


② 排気筒解体装置自社製作風景



③ 水中ドローン

シート片掴み状況



貯留タンクの健全性確認

④ 赤外線による太陽光診断



本資料の取り扱いについて

資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報は、現時点で当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の業績に影響を与える要因としては、一般的な業界および市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

本資料における将来情報に関する記載は、上記のとおり本資料の作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有しておりません。また、本資料の全部または一部は、当社の承諾なしに、いかなる方法もしくは媒体または目的においても、複製、公表または第三者に伝達（直接であるか間接であるかを問いません。）することはできません。

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたものであり、国内外を問わず、いかなる有価証券、金融商品または取引に関する募集、投資の勧誘または売買の推奨を目的としたものでもありません。本資料は、金融商品取引法またはその他の法令もしくは諸規則に基づく開示書類ではありません。投資のご検討にあたっては、必ず当社の開示情報をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。